

アンパイアリング・スキルアップのために 審判員の「シグナル」について

アンパイアリング・スキルアップを図るためには、フォーメーションが大事であります
が、グラウンドにおけるクルー（メンバー）同士の会話が重要であります。

そのためには

- ・シグナルやアイコンタクトを通じてお互いの責任分担を確認し、メカニクスを明確にすることが大事です。
- ・内野内に位置した審判員が状況に応じて、ローテーションやスライドのシグナルを出せば明確になります。
- ・試合中に審判員同士が眼を合わせ、状況に応じたシグナルを出すことにより、アンパイアリング・スキルもあがります。

審判員の「シグナル」について

1. インフィールドフライの状況になった時の「サイン」（シグナル）の確認

- ・各審判員は胸に手を示し、互いに確認を行う。

2. 走者が出た場合のフォーメーション（動き）の確認のシグナルについて

① 走者1塁の場合

- ・ 1 塁塁審 ・ 外野への飛球に対するシグナル
・ 本塁へのカバーのシグナル
- ・ 2 塁塁審 ・ 2・3 塁間への動きのシグナルと 1・2 塁間への動きのシグナル
- ・ 3 塁塁審 ・ 外野への飛球に対するシグナル

② 走者2塁の場合

- ・ 球審 ・ ステイのシグナル
- ・ 1 塁塁審 ・ 外野への飛球に対するシグナル
・ 1・2 塁間への動きのシグナル
- ・ 2 塁塁審 ・ 2・3 塁間への動きのシグナルと 1・2 塁間への動きのシグナル
- ・ 3 塁塁審 ・ 外野への飛球に対するシグナル

③ 走者1・2塁の場合

- ・ 各審判員はインフィールドフライに対応するため「サイン」（シグナル）の確認
- ・ 球審 ・ ステイのシグナル
- ・ 1 塁塁審 ・ 外野への飛球に対するシグナル
・ 1・2 塁間への動きのシグナル
- ・ 2 塁塁審 ・ 2・3 塁間への動きのシグナルと 1・2 塁間への動きのシグナル
- ・ 3 塁塁審 ・ 外野への飛球に対するシグナル

④走者2・3塁の場合

- ・球審 ・ステイのシグナル
- ・1塁塁審 ・外野への飛球に対するシグナル
 - ・1・2塁間への動きのシグナル
- ・2塁塁審 ・2・3塁間への動きのシグナルと1・2塁間への動きのシグナル
 - ・外側に位置する場合は、その旨のシグナルを行う（走者が3塁にいる場合は、レフトよりの位置）3塁塁審のタッグアップ確認のフォローができるように、外野飛球に対する範囲を3塁塁審と確認をしておく
- ・3塁塁審 ・外野への飛球に対するシグナル
 - ・タッグアップ確認のシグナル
 - ・2・3塁間への動きのシグナル

⑤走者3塁の場合

- ・球審 ・タッグアップのカバーのシグナル
- ・1塁塁審 ・外野への飛球に対するシグナル
 - ・1・2塁間への動きのシグナル
- ・2塁塁審 ・外野への飛球に対するシグナル
 - ・外側に位置する（位置はレフトより）3塁塁審のタッグアップ確認のフォローができるように、外野飛球に対する範囲を3塁塁審と確認をしておく
- ・3塁塁審 ・外野への飛球に対するシグナル
 - ・タッグアップ確認のシグナル

⑥走者満塁の場合

- ・各審判員はインフィールドフライに対応するため「サイン」（シグナル）の確認
- ・球審 ・ステイのシグナル
 - ・タッグアップのカバーのシグナル
- ・1塁塁審 ・外野への飛球に対するシグナル
 - ・1・2塁間への動きのシグナル
- ・2塁塁審 ・2・3塁間への動きのシグナルと1・2塁間への動きのシグナル
 - ・外側に位置する場合は、その旨のシグナルを行う（レフトよりの位置）3塁塁審のタッグアップ確認のフォローができるように、外野飛球に対する範囲を3塁塁審と確認をしておく
- ・3塁塁審 ・外野への飛球に対するシグナル（2塁塁審が外側にいる場合は互いに確認をしておく）
 - ・タッグアップ確認のシグナル
 - ・2・3塁間への動きのシグナル

3. ボールカウントの確認

- ・ 球審がボールカウントを示した場合、2塁塁審は確認のシグナルを行う。異なった場合は指で示す。

4. ラインぎわの飛球に対するシグナル

- ・ ラインをまたいで、フェアゾーンかファウルゾーンかシグナルで示す。
- ・ 捕球の場合は、アウトのジェスチャーとコールを行う。(コールは、キャッチアウト)
- ・ 捕球がない場合でファウルゾーンにボールが落ちた場合は、ファウルボールのジェスチャーとコールを行う。(コールは、ファウルボールとする)
- ・ 飛球がフェアゾーンで落ちた場合は、フェアのジェスチャーを行う。

5. インフィールド内(内野手・外野手とも)で飛球を落とした場合のシグナル

(ライナー性の打球で、捕球でないものも含む)

- ・ セーフのジェスチャーで行う。
(ラインぎわの打球の判定と区別するため)
- ・ 捕球した場合は、アウトのジェスチャーとコール(キャッチアウト)

6. バウンドした打球がフェンスを超えないでインフィールド内にボールがある場合のシグナル

- ・ セーフのジェスチャーで行う。